

収率があり、市で徴収すると色々としがらみもあり、当該機構の効果も上がっているの  
で、継続できればいいと思う。  
今後この滞納整理機構の存続  
について検討委員会を通じ、  
協議に参加していきたい。

三・五十万円以上の大口滞納  
者に督促・催告をし、悪質な  
滞納者をピックアップして四  
十名を移管した。最高額は三  
百万円を少し超えていた。

四・調査をしまつたく取れ  
る要素のないものについては、  
税務課と協議しながら、不納  
欠損もせざるを得ない。納付  
約束をしている方、少し待て  
ば納められる人には、引き続  
き徴収を進めていくことにな  
る。

### 市民税等の過年度分徴収 率と軽自動車税の収入未 済額の実態について

#### 問

- 一・市民税・法人税・固定資  
産税の過年度分の徴収率が低  
下した理由は何か。
- 二・軽自動車税の収入未済額  
の実態は。

#### 答

一・十七年度の滞納繰越分に  
ついては、十六年度の三月末  
に合併した関係で、打ち切り  
決算となったため、出納閉鎖  
期間である四・五月に入るべ  
き現年度分がすべて十七年度  
の滞納繰越分に入ったことで、  
十七年度分の徴収率が高かつ  
た。十八年度分は経営状態の  
悪化している法人があるため、  
徴収率が低下しているが、こ  
れらの法人については、現在  
納付の交渉中である。

二・軽自動車税の滞納額四百  
十九万七千七百五十円を滞納  
している軽自動車数は、千二  
百六十五台である。滞納者に  
ついては、文書の催告と住所  
の調査、財産を含めた追跡調  
査を行い徴収に努める。



軽自動車

### 公共下水道特別会計歳入 歳出決算の認定について

#### 問

一・下水道代の滞納は、水道  
代の滞納分とどのように連携  
し集めているのか。滞納額の  
多い者と状況、滞納者に対す  
る徴収の方法・努力について  
問う。

二・受益者負担金前納報奨金  
制度を残してきた理由と今後  
の展望について問う。

#### 答

一・下水道使用料の徴収は、  
水道課へ委任し、滞納の徴収  
は下水道課の職員も一緒に行  
き徴収する。水道給水停止の  
予告文書の中に、下水道代滞  
納整理処分の要綱を入れて請  
求する。両使用料納入の誓約  
書を書いてもらい集めている。

下水道使用料の滞納総額は九  
百九万四余で、二百二十二  
人であり、下水道のみの者が二  
十五名である。最高額は六十  
四万円である。  
二・税務課が報奨金制度を廃  
止する時、一緒に検討した。  
受益者負担金は、年四回五年  
の計二十回払いでお願いして

いる。一括納入は7割から8  
割である。報奨金制度は今後  
も存続したい。固定資産税の  
場合は、新しい所有者が払う  
が、受益者負担金は、税がか  
かったときの所有者が払うの  
で、売ってしまうとなかなか  
払ってもらえない。前納一括  
で払ってもらった方が、手間  
が省け、事務的にも良い。



伊予市下水浄化センター

#### 問

当初の計画と比較すると、  
小さな規模の変更になった。  
将来デイサービスセンターへ  
変わる可能性も含めた工事内  
容になっているのか。

#### 答

永木地区は人口四百人弱、  
高齢者人口二百人弱の地域で  
ある。この施設は永木地域全  
体の介護予防三世代交流施設  
というふうな地域の交流を目  
的とした施設であり、将来的  
にデイサービスセンター等へ  
の改修はないと考えている。



永木交流施設

### 平成十九年度伊予市一般 会計補正予算(第二号) 永木交流施設改修工事に ついて